

## プログラムの（一部）変更のお知らせ

1. 2/26 一般講演プログラムの S-48 の発表がキャンセルとなり、ポスター(SP-43)での発表となりました。発表に割り当てられていた時間は休憩時間として、以降の発表時間は繰り上げません。
2. 3/3 ISAM OS IA-2 がキャンセルになりました。

ISAM OS IA-2 was canceled

日本農業気象学会2014年全国大会 & International Symposium on Agricultural Meteorology 2014  
スケジュール Schedule

	時刻		A会場 Room A	時刻		B会場 Room B	時刻		C会場 Room C	時刻		D会場 Room D	時刻		ホール Entrance Hall	E会場 Room E															
3月17日 (月) 17 March Mon	12:30	14:45	オーガナイズドセッション SA: 陸域メタンフラックスの 評価のための連携研究に向け て～現状の課題共有の先にあ る飛躍～	12:30	14:45	ISAM Organized Session IA: Micro-meteorological environments and physiological functions of plant									企業展示 (17日12:00 ～ 20日16:30)  Exhibition (17 March 12:00 ～ 20 March 16:30)																
	14:55	17:10	オーガナイズドセッション SB: 農耕地におけるN <sub>2</sub> Oフ ラックス研究の最新動向	14:55	17:10	オーガナイズドセッション SD: 寒地における施設園芸の 可能性																									
	17:20	19:35	オーガナイズドセッション SC: 園芸工学研究への LED利用	17:20	19:35	オーガナイズドセッション SE: 農業における気象データを 活用した意思決定支援システ ムの可能性																									
18日 (火) 18 March Tue	9:00	11:30	全国一般講演	9:00	11:30	ISAM Oral Session																									
									11:30	13:00	編集委員会																				
	13:00	16:15	全国一般講演	13:00	16:00	ISAM Organized Session IB: Development and practice of advanced basin model in Asia									ポスター展示 (18日13:00 ～ 19日17:30) Poster display (18 March 13:00～ 19 March 17:30)	休憩所 (18日9:00 ～ 20日16:30)															
	18:00	20:00	農業気象災害 リスクマネジメント部会	18:00	20:00	若手の会			18:00	20:00	三原先生追悼の会			16:15	18:00	全国一般ポス ターセッション ISAM Poster session	Breakroom (18 March 9:00 ～ 20 March 16:30)														
19日 (水) 19 March Wed	9:00	11:45	全国一般講演	9:00	11:30	ISAM Organized Session IC: Sustainable forest and crop production affected by air pollution : an Asian perspectives																									
									12:45	14:45	総会			11:45	12:45	評議員会															
									15:00	17:30	公開シンポジウム 「北の農業は温暖化 にどのように向き合っ ているか？」 ～北海道ブランドカ の向上にむけて～																				
懇親会: アспенホテル 18:00～20:00																Banquet: Sapporo Aspen Hotel 18:00～20:00															
20日 (木) 20 March Thu	9:00	12:00	全国一般講演	9:00	12:00	全国一般講演																									
	13:00	16:15	全国一般講演	13:00	15:45	ISAM Oral Session								12:00	13:00	理事会															
	16:30	19:30	オーガナイズドセッション SF: ワイン産地としての北海 道空知地域の魅力と将来展 望																												
意見交換会: 「ワイン産地としての北海道空知地域の魅力と将来展望」: アспенホテル 19:45～																															
21日 (金) 21 March Fri	エクスカーション: 「北海道空知地域の「酪農」と「ワイン生産」に関わる施設巡り」 8:00-18:00 (JR札幌駅出発・解散) 見学場所: 小林牧場(江別市)、酪農学園大学(江別市)、宝水ワイナリー(岩見沢市)、山崎ワイナリー(三笠市)  Field Trip: 「Dairy Farming and Wine Grape Production in Sorachi, Hokkaido」 8:00-18:00 (departure and arrival at JR Sapporo Station) Destination: Kobayashi Ranch (Ebetsu), Rakuno Gakuen University (Ebetsu), Housui Winery (Iwamizawa), Yamazaki Winery (Mikasa)																														

日本農業気象学会2014年全国大会 オーガナイズドセッションプログラム

SA「陸域メタンフラックスの評価のための連携研究に向けて ～現状の課題共有の先にある飛躍～」		3月17日 12:30 – 14:45 A会場
オーガナイザー: JapanFlux[平野高司(北大)・植山雅仁(大阪府大)・齊藤誠・平田竜一(環境研)] コメンテーター: 波多野隆介(北大)・宮田明(農環研)		
SA-1	プロセスモデルを用いたメタン収支の広域評価	伊藤昭彦(国環研)
SA-2	チャンバー法による地表面メタンフラックス観測についてのもろもろの話	伊藤雅之(京大東南研)
SA-3	我が国の森林土壌における年間メタン吸収量の推定	森下智陽・橋本昌司・石塚成宏・阪田匡司・三浦 寛・金子真司・高橋正通(森林総研)
SA-4	渦相関法および多点自動開閉チャンバー法を用いたチベット高山湿地生態系におけるCH <sub>4</sub> /CO <sub>2</sub> 収支の評価	梁 乃申・寺本宗正(国環研)・賀 金生・于 凌飛(北京大)・杜 明遠(農環研)
SA-5	微気象学的手法を中心とした生態系スケールでのメタン交換の解明	岩田拓記 <sup>1</sup> ・原園芳信 <sup>2</sup> ・小杉緑子 <sup>1</sup> ・植山雅仁 <sup>3</sup> ・坂部綾香 <sup>1</sup> ・永野博彦 <sup>2</sup> ・奥見智佳 <sup>1</sup> ・間野正美 <sup>4</sup> ・小野圭介 <sup>5</sup> ・高橋けんし <sup>1</sup> ・宮田 明 <sup>5</sup> ( <sup>1</sup> 京大, <sup>2</sup> アラスカ大, <sup>3</sup> 大阪府大, <sup>4</sup> 千葉大, <sup>5</sup> 農環研)
SA-6	全球メタンフラックス推定 – 温室効果ガス観測技術衛星GOSATから見えてきたもの –	Heon-Sook KIM <sup>1</sup> ・○齊藤 誠 <sup>1</sup> ・佐伯田鶴 <sup>2</sup> ・Dmitry BELIKOV <sup>3</sup> ・伊藤昭彦 <sup>1</sup> ・森野 勇 <sup>1</sup> ・内野 修 <sup>1</sup> ・吉田幸生 <sup>1</sup> ・横田達也 <sup>1</sup> ・Shamil MAKSYUTOV <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 環境研, <sup>2</sup> JAMSTEC, <sup>3</sup> 極地研)

SB「農耕地におけるN <sub>2</sub> Oフラックス研究の最新動向」		3月17日 14:55 – 17:10 A会場
オーガナイザー: JapanFlux [宮田 明・小野圭介(農業環境技術研究所)]		
SB-1	草地・とうもろこし畑からのN <sub>2</sub> O放出の時間変動解析: 突発的なN <sub>2</sub> O放出	清水真理子・Li MENGJIE・波多野隆介(北大)
SB-2	水田および水田転換畑からのN <sub>2</sub> Oフラックスの特徴 ～北海道空知地域における研究事例～	永田 修(北海道農業研究センター)
SB-3	有機質資材を施用した農耕地土壌からのN <sub>2</sub> O排出量とその排出係数の評価 – 全国10県の農業試験機関における一斉調査 –	佐野智人 <sup>1</sup> ・仁科一哉 <sup>1,2</sup> ・大浦典子 <sup>1</sup> ・須藤重人 <sup>1</sup> ・布山美恵 <sup>3</sup> ・熊谷勝巳 <sup>3</sup> ・矢野真二 <sup>3</sup> ・大越 聡 <sup>4</sup> ・佐藤睦人 <sup>4</sup> ・藤田 裕 <sup>5</sup> ・飯村 強 <sup>5</sup> ・白鳥 豊 <sup>6</sup> ・古川勇一郎 <sup>6</sup> ・恒川 歩 <sup>7</sup> ・菅野淳夫 <sup>7</sup> ・西本浩之 <sup>7</sup> ・辻 正樹 <sup>7</sup> ・蓮川博之 <sup>8</sup> ・高橋有紀 <sup>8</sup> ・鈴江康文 <sup>9</sup> ・黒田康文 <sup>9</sup> ・平山裕介 <sup>10</sup> ・山田寧直 <sup>10</sup> ・水上浩之 <sup>11</sup> ・城 秀信 <sup>11</sup> ・上園一郎 <sup>12</sup> ・古江広治 <sup>12</sup> ( <sup>1</sup> 農環研, <sup>2</sup> 国環研, <sup>3</sup> 山形農総セ, <sup>4</sup> 福島農総セ, <sup>5</sup> 茨城農総セ, <sup>6</sup> 新潟農総研, <sup>7</sup> 愛知農総セ, <sup>8</sup> 滋賀農総セ, <sup>9</sup> 徳島農総セ, <sup>10</sup> 長崎農総セ, <sup>11</sup> 熊本農総セ, <sup>12</sup> 鹿児島農総セ)
SB-4	室内制御実験下における土壌のN <sub>2</sub> O・NO・CO <sub>2</sub> 発生量の連続測定	米村正一郎(農環研)・西村誠一(中央農研)
SB-5	微気象学的手法による一酸化二窒素のフラックス測定-現状と課題-	宮田 明・小野圭介(農環研)

SC「園芸工学研究へのLED利用」		3月17日 17:20 – 19:35 A会場
オーガナイザー: 富士原和宏(東大院農)		
	主催部会長挨拶	後藤英司(千葉大院園芸)
	開催趣旨説明	富士原和宏(東大院農)
SC-1	農作物の光害 – 光害の現状と新しいLED照明による防止対策 –	山本晴彦(山口大農)
SC-2	LEDを用いる温室補光と人工光栽培の最新動向	後藤英司(千葉大院園芸)
SC-3	LED利用による葉菜類の有用成分蓄積技術の開発	庄子和博(電中研)
SC-4	研究用LED光源システムと植物栽培のためのLED光照射法	富士原和宏(東大院農)
	総合質疑・総合討論 – 農業気象学研究者が参画するLED利用研究の方向性 –	

SD「寒地における施設園芸の可能性」		3月17日 14:55 – 17:10 B会場
オーガナイザー: 鮫島良次(北大)・生方雅男(道総研)・濱寄孝弘(農研機構北海道農研)		
SD-1	北国でハウスをどう使うか	岡田益己(岩手大)
SD-2	積雪寒冷地における施設園芸の可能性を広げる技術シーズ – ヒートポンプ・連棟ハウス・地中伝熱 –	古野伸典(山形県庄内総合支庁農業技術普及課産地研究室)
SD-3	温熱環境と省エネルギーから見た北海道の温室	立松宏一(道総研北方建築総合研究所)・生方雅男(道総研花・野菜技術センター)
SD-4	寒冷地施設園芸への地中熱ヒートポンプ利用	長野克則(北大院工)

<b>SE「農業における気象データを活用した意思決定支援システムの可能性」</b>		<b>3月17日 17:20-19:35 B会場</b>
<b>オーガナイザー: 白旗雅樹(道総研)・廣田知良(農研機構北海道農研)・鮫島良次(北大)</b> <b>コメンテーター: 川合拓男(芽室町畑作農家)・前塚研二(十勝農協連農産課)</b>		
	開催趣旨説明	白旗雅樹(道総研)
SE-1	北海道における気象データを活用した病害虫発生予察の現状と課題	清水基滋(道総研中央農業試験場)
SE-2	気象データを活用した牧草の乾燥シミュレーション	松岡延浩(千葉大院園芸)
SE-3	北海道における農業気象情報発信の取り組み	佐藤隆光(日本気象協会北海道支社)
	総合質疑・総合討論	

<b>SF「ワイン産地としての北海道空知地域の魅力と将来展望」</b>		<b>3月20日 16:30-19:30 A会場</b>
<b>オーガナイザー: 永田 修・廣田知良(農研機構北海道農研)</b> <b>コメンテーター: 小野 悟(北海道農政部)</b> <b>共催: 日本農業気象学会温暖化フォーラム・ワインチャレンジシンポジウム企画委員会</b> <b>後援: 空知総合振興局</b>		
SF-1	北海道空知でのワイン生産拡大は何を意味するか	小林和彦 (東京大学)
SF-2	空知地域のヴァインヤードを取り巻く気象・土壌環境	丹羽勝久 ((株)スコージャ)
SF-3	北海道の醸造用ブドウ産地における気象変動の影響と産地個性の追求	平川敦雄 (北海道ワイン株式会社)
SF-4	ワインを北海道の文化へ	滝沢信夫 (TAKIZAWA WINE)

日本農業気象学会2014年全国大会 一般講演プログラム

3月18日(火) 9:00-11:30 A会場				
9:00 - 9:15	S-1	四季成り性イチゴ品種の花成に及ぼす電照の作用 - 遠赤光が効くのか? -	岡田益己 <sup>1</sup> ・伊藤篤史 <sup>2</sup> ・松井優紀 <sup>1</sup> ・庭田英子 <sup>2</sup> ・岩瀬利己 <sup>2</sup> ・松嶋卯月 <sup>1</sup> ・庄野浩資 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 岩手大, <sup>2</sup> 青森野菜研)	座長:
9:15 - 9:30	S-2	種々のピーク波長のLEDを用いた混合光照射下におけるコスレタス葉の光合成量子収率	村上貴一・松田 怜・富士原和宏 (東大院農)	遠藤良輔
9:30 - 9:45	S-3	人工環境下における暗期UV照射がニコトハッカの薬用成分濃度に及ぼす影響 - UV強度、照射日数 -	小川瑛利子・○彦坂晶子・石神靖弘・後藤英司 (千葉大院園芸)	(大阪府大)
9:45 - 10:00	S-4	下位葉補光・終夜補光の光質が植物の光合成特性と成育に及ぼす影響	松田 怜 <sup>1</sup> ・村上貴一 <sup>1</sup> ・山笠拓人 <sup>2</sup> ・富士原和宏 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東大院農, <sup>2</sup> 東大農)	
10:00 - 10:15	S-5	クロロフィル蛍光計測に基づいたPPFD-総光合成速度曲線の簡易推定法	地子智浩・松田 怜・富士原和宏 (東大院農)	
10:30 - 10:45	S-6	温室における太陽熱の有効利用に関する研究 I . 中国式日光温室における蓄放熱効果	久枝大祐 <sup>1</sup> ・安武大輔 <sup>2</sup> ・森 牧人 <sup>2</sup> ・Weizhen WANG <sup>3</sup> ・Yueru WU <sup>3</sup> ・北野雅治 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 九大農, <sup>2</sup> 高知大農, <sup>3</sup> 中国科学院)	座長:
10:45 - 11:00	S-7	地中熱交換空気局所施用した夏秋トマトの生産性	柴田昇平 (九沖農研)・笠原賢明 (近中四農研)	植山秀紀
11:00 - 11:15	S-8	果樹栽培におけるチップ材使用ハウス暖房機の実証評価	下高敏彰・岩崎信也・小川さつき・中道隆広・大場和彦 (長崎総合科学大)	(近中四農研)
11:15 - 11:30	S-9	TRNSYSを用いた温室環境シミュレーション - 換気窓制御アルゴリズム等の組み込み -	石神靖弘・渡辺 賢・後藤英司 (千葉大院園芸)・奥島里美 (農村工学研究所)	
3月18日(火) 13:00-16:15 A会場				
13:00 - 13:15	S-10	2013年4月の果樹晩霜害に係る気象要因と樹体要因	朝倉利員 (農研機構果樹研)	座長:
13:15 - 13:30	S-11	被害樹種および発生地域から見た近年の果樹雪害の特徴	朝倉利員 (農研機構果樹研)	松村伸二
13:30 - 13:45	S-12	高知県の水稲災害における気象学的要因とその変動	西森基貴・大城萌美 (農環研)・坂田雅正 (高知県農業技術センター)・佐々浩司 (高知大理)・井芹慶彦・鼎信次郎 (東京工業大)	(香川大学)
13:45 - 14:00	S-13	関東内陸部の夏季における水田とアメダス観測所の最高気温の比較	丸山篤志 <sup>1</sup> ・臼井靖浩 <sup>2</sup> ・桑形恒男 <sup>2</sup> ・佐々木華織 <sup>1</sup> ・大野宏之 <sup>1</sup> ・中川博視 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 農研機構 中央農研, <sup>2</sup> 農環研)	
14:00 - 14:15	S-14	防風林が水田環境とイネの生育・収量に及ぼす影響	久富裕太・鮫島良次・岡田啓嗣 (北大農)	座長:
14:15 - 14:30	S-15	気候の年々変動が日本の水稲の収量に及ぼす影響	渥美和幸・太田俊二 (早稲田大人間科学)	高山 成
14:45 - 15:00	S-16	気温が短日下のイネ穂分化に及ぼす影響	武氣壮平・岡田益己・横井修司・庄野浩資・松嶋卯月 (岩手大)	(大阪工大)
15:00 - 15:15	S-17	イネの不時出穂に及ぼす日長と温度の作用	岡田益己・○菊地慎二・小田島芽里・庄野浩資・松嶋卯月・横井修司 (岩手大)	
15:15 - 15:30	S-18	白未熟粒発生率推計モデルの開発	増富祐司 <sup>1</sup> ・荒川 誠 <sup>2</sup> ・箕田豊尚 <sup>2</sup> ・米倉哲志 <sup>1</sup> ・嶋田知英 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 埼玉環境科学国際センター, <sup>2</sup> 埼玉県水田農業研究所)	座長:
15:30 - 15:45	S-19	温度勾配チャンバーによる早晩性の異なるライス品種の温度応答の解析	熊谷悦史 (農研機構東北農業研究センター)・鮫島良次 (北大)	吉本真由美
15:45 - 16:00	S-20	温暖化によるウンシュウミカン栽培適地の移動と現在の生産地への影響	杉浦俊彦 (農研機構 果樹研究所)	(農環研)
16:00 - 16:15	S-21	気温予報値を使った小麦の開花期予測	黒瀬義孝 (近農研)・野津原昭二・伊藤 明・中三川浩 (気象庁)	
3月19日(水) 9:00-11:45 A会場				
9:00 - 9:15	S-22	北海道十勝における冬季夜間冷却 (その1) 気温分布とその特徴	矢崎友嗣 <sup>1,3</sup> ・福島広和 <sup>2</sup> ・広田知良 <sup>1</sup> ・岩田幸良 <sup>1</sup> ・井上 聡 <sup>1</sup> ・輪島淳 <sup>2</sup> ・横田 歩 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 北農研, <sup>2</sup> 札幌管区気象台, <sup>3</sup> 現湿原研究所)	座長:
9:15 - 9:30	S-23	北海道十勝における冬季夜間冷却(その2)シミュレーションによる気温分布形成のメカニズム調査	福島広和 <sup>1</sup> ・矢崎友嗣 <sup>2,3</sup> ・広田知良 <sup>2</sup> ・岩田幸良 <sup>2</sup> ・井上 聡 <sup>2</sup> ・輪島淳 <sup>1</sup> ・横田 歩 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 札幌管区気象台, <sup>2</sup> 北農研, <sup>3</sup> 現湿原研究所)	小南靖弘
9:30 - 9:45	S-24	北海道を対象とした地域気候予測研究について	佐藤友徳 <sup>1</sup> ・山田朋人 <sup>2</sup> ・稲津 将 <sup>3</sup> ・中村一樹 <sup>4</sup> ・杉本志織 <sup>1</sup> ・宮崎真 <sup>5</sup> ・久野龍介 <sup>6</sup> ( <sup>1</sup> 北大環境, <sup>2</sup> 北大工, <sup>3</sup> 北大大理, <sup>4</sup> 防災科研, <sup>5</sup> 極地研, <sup>6</sup> (株)アーク情報システム)	(北農研)
9:45 - 10:00	S-25	高知県での降水量ダウンスケールに向けた地点観測データの活用手法について	横山正樹・西森基貴 (農環研)	
10:00 - 10:15	S-26	中国東北部における気候・水資源変化が農業生産に及ぼす複合影響の評価	岡田将誌・飯泉仁之直・櫻井 玄 (農環研)・横沢正幸 (静岡大)	
10:30 - 10:45	S-27	衛星データによる畑作物種の判別とその精度評価	辰己賢一 (東京農工大)	座長:
10:45 - 11:00	S-28	TerraSAR-XによるInSARコヒーレンスを活用した作物のモニタリング	園部 礼・谷 宏・王 秀峰・小島康人 (北大)・小林伸行 (HIT)・島村秀樹 (パソ)	中野聡史
11:00 - 11:15	S-29	熱慣性を指標とする広域土壌水分条件の推定	松島 大 (千葉工業大)・木村玲二・黒崎泰典 (鳥取大乾地研)	(中央農研)
11:15 - 11:30	S-30	気象庁メソ数値予報モデルGPVを利用した全天日射量分布の推定 (3) - 大気透過率の時空間補間 -	佐々木華織・○大野宏之・吉田ひろえ・中國 江・丸山篤志・中川博視 (中央農業総合研究センター)	
11:30 - 11:45	S-31	温暖化政策支援モデルのための全球作物収量影響関数の開発	田中朱美 <sup>1</sup> ・高橋 潔 <sup>2</sup> ・増富祐司 <sup>3</sup> ・花崎直太 <sup>2</sup> ・脇岡靖明 <sup>2</sup> ・蘇 宣銘 <sup>2</sup> ・長谷川知子 <sup>2</sup> ・藤森真一郎 <sup>2</sup> ・増井利彦 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 北大環境科学院, <sup>2</sup> 国立環境研究所, <sup>3</sup> 埼玉環境科学国際センター)	

3月20日(木) 9:00-12:00 A会場				
9:00 - 9:15	S- 32	暖候期(2013年5月28日)の志摩半島南方空域での液体炭酸人工降雨実験	真木太一(国際農林水産業研究センター・九大名誉教授)・西山浩司(九大院工)・守田 治(福岡大環境未来オフィス)・鈴木義則(九大名誉教授)・脇水健次(九大院農)	座長:
9:15 - 9:30	S- 33	竹チップ発酵熱の抽出・蓄積・利用の野外実験	関 平和・大島花織・藤川絢介(金沢大)	小森大輔
9:30 - 9:45	S- 34	樹冠による雨滴飛散が森林の土壌侵食に与える影響	中屋 耕・若松孝志・池田英史・阿部聖哉(電中研)	(東北大学)
9:45 - 10:00	S- 35	土壌体積含水率がスギとカラマツのテルペン類放出に及ぼす影響と放出モデルの改良	望月智貴・谷 晃(静岡県大環境)・高橋善幸・三枝信子(国環研)	
10:00 - 10:15	S- 36	森林内における土壌中放射性物質濃度分布と林床面放射線量率	安田幸生(森林総研東北)・大谷義一(森林総研)・蛭田利秀・渡部秀行・橋内雅敏(福島県林研センター)	
10:15 - 10:30	S- 37	SPACにおける木部圧ポテンシャルの環境応答に関する研究	森崎章好・野見山綾介・三好悠太(九大)・矢野 拓(大分県)・北野雅治(九大)	
10:45 - 11:00	S- 38	カラマツ若齢林における植生指標を用いた群落光合成量の推定	平山宏次郎(北大農)・高木健太郎(北大FSC)・井手玲子(国環研)・岡田啓嗣・鮫島良次(北大院農)・小熊宏之(国環研)	座長:
11:00 - 11:15	S- 39	カラマツ林の蒸発散とエネルギー収支	鈴木啓司(北大農)・平田竜一(国環研)・平野高司(北大農)	松島 大
11:15 - 11:30	S- 40	分光植生指標を用いた苦小牧風倒跡地における植生フェノロジーの把握	井手玲子・小熊宏之(国環研)・平野高司(北大)	(千葉工大)
11:30 - 11:45	S- 41	西日本におけるセイタカアワダチソウへ遷移した放棄水田の炭素プールの評価	下田星児(北農研芽室)・和頼明太(農環研)	
11:45 - 12:00	S- 42	沿岸域の水田で観測された気孔コンダクタンスと無次元蒸発散量の同調的減	能島知宏・森 牧人・早田亮平・安武大輔・宮崎 彰(高知大)	
3月20日(木) 9:00-12:00 B会場				
9:00 - 9:15	S- 43	熱収支等によるチャ(玉露)の各種防霜法の評価	中園健太郎 <sup>1</sup> ・丸尾恭輔 <sup>2</sup> ・北野雅治 <sup>2</sup> ・吉岡哲也 <sup>1</sup> ・堺田輝真 <sup>1</sup> ・久保田 朗 <sup>1</sup> ・室屋昭彦 <sup>3</sup> ・松尾喜義 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 福岡県, <sup>2</sup> 九大, <sup>3</sup> カワサキ機工, <sup>4</sup> 野茶研)	座長:
9:15 - 9:30	S- 44	チャの耐凍性の消長に対する温度履歴および適合溶質の影響	丸尾恭輔・江口壽彦・北野雅治(九大)・園師一文(宮崎大)・中園健太郎・吉岡哲也(福岡県)・勝田雅人・徳田明彦(鹿児島県)・松尾喜義(農研機構)	石神靖弘
9:30 - 9:45	S- 45	傾斜茶園における近接3地点間での茶樹耐凍性の季節変化と比較解析	一色隆太郎 <sup>1</sup> ・森 牧人 <sup>2</sup> ・能島知宏 <sup>2</sup> ・Galís IVAN <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 岡山大学資源植物科学研究所, <sup>2</sup> 高知大農)	(千葉大学)
9:45 - 10:00	S- 46	圃場条件下におけるリンゴ成木個体の光合成速度の日中低下現象	伊藤大雄(弘前大農生)・石田祐宣(弘前大院理工)	
10:00 - 10:15	S- 47	灌水自動化を目的とした精密気象情報に基づくミカン樹の蒸散量推定	植山秀紀・星 典宏・根角博久(農研機構)	
10:15 - 10:30	S- 48	植物工場における他セクターとの産業共生シミュレーション:環境配慮型震災復興をめざして	大場 真(東京農大)・藤田 壮・戸川卓哉・藤井 実・平野勇二郎・大西 悟(国立環境研究所)	
10:45 - 11:00	S- 49	Open-FS(Open Field Server)による環境・生育モニタリング実験及びOpne-FSの改良	平藤雅之(農研機構,筑波大)・世一秀雄・伊藤淳士・杉浦 綾・濱田安之・池田成志・西中未央・田口和憲・辻 博之(農研機構)・本多潔(中部大学)	座長:
11:00 - 11:15	S- 50	温室内クリーニングクローブ栽培における立毛湿水とその効果-蒸発散と土壌水分に着目して-	安武大輔 <sup>1</sup> ・粟田健吉 <sup>1</sup> ・近藤圭介 <sup>1</sup> ・山根信三 <sup>1</sup> ・松岡真如 <sup>1</sup> ・藤原 拓 <sup>1</sup> ・前田守弘 <sup>2</sup> ・永禮英明 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 高知大, <sup>2</sup> 岡山大)	松田 玲
11:15 - 11:30	S- 51	トマトの養液土耕栽培における有機液肥施用が土壌呼吸に及ぼす影響	原田 日路香・小沢 聖・竹迫 紘(明治大)	(東京大学)
11:30 - 11:45	S- 52	根の養水分吸収プロセスの呼吸依存性に関する研究	堂脇翔太・野見山綾介・山田あすか(九大)・佐合悠貴(山口大)・北野雅治(九大)	
11:45 - 12:00	S- 53	CO <sub>2</sub> 施用下における根の養水分吸収特性-異なる肥料濃度での栽培実験-	船岡高史 <sup>1</sup> ・安武大輔 <sup>1</sup> ・小堀智絵 <sup>1</sup> ・森 牧人 <sup>1</sup> ・北野雅治 <sup>2</sup> ・宮内樹代史 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 高知大, <sup>2</sup> 九大)	
3月20日(木) 13:00-16:15 A会場				
13:00 - 13:15	S- 54	有機質肥料を施用する牧草地での温室効果ガス揮散量測定	中山博敬・桑原淳・町田美佳・横濱充宏(独)土木研究所寒地土木研究所)	座長:
13:15 - 13:30	S- 55	モンゴル半乾燥草原における植物成長期のCO <sub>2</sub> 収支	中野智子(中央大経済)・篠田雅人(鳥大乾地研)	植山雅仁
13:30 - 13:45	S- 56	植生遷移が進む森林跡地のCO <sub>2</sub> フラックスに与える環境要因の影響	東 健太・平野高司(北大農)・寺本宗正・梁 乃申(国環研)	(大阪府大)
13:45 - 14:00	S- 57	北海道北部における流域スケールの夜間CO <sub>2</sub> 収支	鈴木 潤・岡田啓嗣・鮫島良次(北大院農)・高木健太郎(北大FSC)	
14:00 - 14:15	S- 58	気候変化および攪乱が森林の炭素収支に与える影響	平田竜一(環境研)・高木健太郎(北大FSC)・伊藤昭彦(環境研)・平野高司(北大農)・三枝信子(環境研)	
14:15 - 14:30	S- 59	ヨーロッパにおける炭素収支のモデル間比較	加藤知道(北大農, LSCE)・Ciais, P.(LSCE)・Peylin, P.(LSCE)・etc.	
14:45 - 15:00	S- 60	渦相関法による湛水期・中干し期の水田におけるCH <sub>4</sub> フラックスの測定	小宮秀治郎(明治大院農)・登尾浩助(明治大院農)・片野健太郎(明治大院農)・近藤文義(国立環境研究所)	座長:
15:00 - 15:15	S- 61	温帯ヒノキ林樹冠上におけるメタンフラックスの年々変動	坂部綾香・小杉緑子(京大)・植山雅仁・鯉谷 憲(大阪府大)・高橋けんし・岩田拓記・伊藤雅之・奥見智佳・安宅未央子(京大)	間野正美
15:15 - 15:30	S- 62	鉛直濃度プロファイルの逆解析による森林メタンフラックスの評価	植山雅仁(大阪府大)・高梨 聡(森林総研)・高橋善幸(国環研)	(千葉大学)
15:30 - 15:45	S- 63	農環研大気汚染資料判定別棟の土壌・植物ガス交換量自動測定システム群	米村正一郎・児玉直美(農環研)	
15:45 - 16:00	S- 64	可視化技術を用いた地表面近傍における乱流観測	森 文洋(北大環境)・下山 宏・渡辺 力(北大低温研)	
16:00 - 16:15	S- 65	乱流フラックスデータの品質評価手法の定量的評価	小森大輔(東北大環境科学研究科)・金 元植(農業環境技術研究所)	

**日本農業気象学会2014年全国大会 ポスター発表プログラム**  
3月18日(火) 16:15~18:00

発表時間(コアタイム)は、奇数番号が16:15~17:05、偶数番号が17:10~18:00とします。

SP-10	夜間冷却量と放射量、風速の関係と季節性について -東北農業研究センターの気象観測データを用いて-	紺野祥平・大久保さゆり・菅野洋光(農研機構東北農業研究センター)
SP-2	アマダス積雪深分布を補間する1kmメッシュ積雪推定プログラム	小南靖弘 <sup>1</sup> ・大野宏之 <sup>2</sup> ・根本 学 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 北海道農研, <sup>2</sup> 中央農研)
SP-3	気候値を用いた多雪山地域における冬季降水量の補正について	佐藤嘉展・大上博基(愛媛大農)
SP-4	気温の日別平年値のメッシュ化	大野宏之 <sup>1</sup> ・根本 学 <sup>2</sup> ・小南靖弘 <sup>2</sup> ・佐々木華織 <sup>1</sup> ・中園 江 <sup>1</sup> ・中川博視 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 中央農研, <sup>2</sup> 北海道農研)
SP-50	複雑地形地域における気温メッシュデータの展開可能性の検討	大久保さゆり・紺野祥平・菅野洋光(東北農研)
SP-6	世界の主要作物の収量変動における同期性の解析	横沢正幸(静岡大院・数理)
SP-7	再解析ダウンスケーリングデータを援用した中山間地域の気温環境に関する数値シミュレーション研究	大隅雄貴 <sup>1,2</sup> ・森 牧人 <sup>1</sup> ・吉田龍平 <sup>3</sup> ・西森基貴 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 高知大, <sup>2</sup> 全農物流株式会社, <sup>3</sup> 東北大, <sup>4</sup> 農業環境技術研究所)
SP-8	長野県における気候変動適応策導入の試み(第2報) - 長野県の気温分布変化予測と県内モニタリング体制構築に向けての取り組み -	田中博春・陸 斉・浜田 崇・畑中健一郎・中村 勤(長野県環境保全研究所)
SP-90	鹿児島県における二ホンナシ'豊水'の発芽不良発生に及ぼす秋冬季の気温の影響	坂上陽美 <sup>1</sup> ・藤川和博 <sup>2</sup> ・阪本大輔 <sup>3</sup> ・東 明弘 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 鹿児島農総セ果樹北薩, <sup>2</sup> 鹿児島農総セ企画調整部, <sup>3</sup> 農研機構果樹研)
SP-10	気候変動がわが国のコメ生産に与える影響と作期移動による適応	石郷岡康史・福井 眞・桑形恒男・西森基貴・長谷川利弘(農環研)
SP-11	温暖化に対応した北海道水稻の収量・生育予測モデルの構築	根本 学・濱崎孝弘・廣田知良(農研機構・北農研)
SP-12	水稻の耕種期日の早晚を面的に予測する数値モデルの開発	川方俊和 <sup>1</sup> ・大久保さゆり <sup>1</sup> ・大野宏之 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東北農研, <sup>2</sup> 中央農研)
SP-13	水稻履歴期間の地温が北海道産水稻品種の耐冷性におよぼす影響の解析	濱崎孝弘・根本 学・廣田知良(農研機構北農研)
SP-14	水温を考慮した水稻フェノロジーモデルの精度検証	福井 眞・石郷岡康史・長谷川利弘・桑形恒男(農環研)
SP-15	水稻登熟期の高温乾燥風が玄米外観品質に及ぼす影響	脇山恭行・柴田昇平(九沖農研)
SP-160	午前と午後の日射の違いによる水稻の玄米品質の評価	下高敏彰・高柳 滯・阿南省吾・繁宮悠介・大場和彦(長崎総合科学大)
SP-17	有効積算温度によるダイズの葉面積展開のモデル化	中野聡史(農研機構中央農研)
SP-18	夏季における用水路のカンガイ水温の上昇について	松村伸二(香川大農)
SP-19	エジプトRashda村におけるコムギ収量に対する灌漑回数の影響	松岡延浩 <sup>1</sup> ・木村玲二 <sup>2</sup> ・岩崎えり奈 <sup>3</sup> ・加藤 博 <sup>4</sup> ・間野正美 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 千葉大院園芸, <sup>2</sup> 鳥取大乾地研, <sup>3</sup> 上智大外国語学部, <sup>4</sup> 一橋大院経済)
SP-20	ダイズの耕うん同時畝立て播種後の地下灌漑による出芽改善効果	細野達夫・中山則和・加藤 仁・伊藤誠治・島崎由美・大野智史・関 正裕(農研機構)
SP-21	バングラデシュの水稻二期作田におけるCO <sub>2</sub> 収支:夏季の非作付け期間のNDVIとCO <sub>2</sub> フラックスの特徴	間野正美 <sup>1</sup> ・三田村翔平 <sup>2</sup> ・宮田 明 <sup>3</sup> ・石原光則 <sup>3</sup> ・井上吉雄 <sup>3</sup> ・小野圭介 <sup>3</sup> ・金 元植 <sup>3</sup> ・Md. Abdul BATEN <sup>4</sup> ・Md. Alim MIAH <sup>4</sup> ・松岡延浩 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 千葉大院園芸, <sup>2</sup> 千葉大院園芸, <sup>3</sup> 農環研, <sup>4</sup> バングラデシュ農業大)
SP-220	マレーシア熱帯フタバガキ林におけるエンクロードパス過関法を用いた降雨時のCO <sub>2</sub> ・H <sub>2</sub> Oフラックスの観測	奥村智憲 <sup>1</sup> ・岩田拓記 <sup>1</sup> ・小杉緑子 <sup>1</sup> ・高梨 聡 <sup>2</sup> ・Abdul Rahman KASSIM <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 京大, <sup>2</sup> 森林総研, <sup>3</sup> FRIM)
SP-230	2013年に観測された春季の低温および夏季の高温・乾燥がアラスカ内陸部の永久凍土帯に生育するクロトウヒ林のCO <sub>2</sub> 収支に及ぼした影響	永野博彦 <sup>1</sup> ・原園芳信 <sup>1,2</sup> ・岩田拓記 <sup>3</sup> ・植山雅仁 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> IARC, <sup>2</sup> 大阪府立大, <sup>3</sup> 京大)
SP-240	湿地域を含む温帯ヒノキ林土壌のメタンフラックス時空間変動	奥見智佳・小杉緑子・坂部綾香・岩田拓記・伊藤雅之・安宅未央子(京大)
SP-25	水田からのCH <sub>4</sub> フラックスと排水性の関係~北海道空知地域における研究事例~	永田 修 <sup>1</sup> ・大原響丈 <sup>2</sup> ・高木優次 <sup>2</sup> ・赤塚脩介 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 北海道農業研究センター, <sup>2</sup> 北海道農業近代化技術研究センター)
SP-26	風倒による攪乱を受けた落葉広葉樹林の炭素循環のモデル化と変動予測	山野井克己・溝口康子・宇都木 玄(森林総合研究所)
SP-27	羊ヶ丘実験林における台風攪乱前後の光環境の変化と林床植生	溝口康子・山野井克己・宇都木 玄・飛田博順(森林総研)
SP-28	Lightweight, low-cost, automatic monitoring of global and diffused solar radiation	Morikuni MIYAHIRA <sup>1</sup> , Takae USUI <sup>1</sup> , Akira KAIHO <sup>2</sup> , Limi OKUSHIMA <sup>3</sup> and ○Tadashi TAKAKURA <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Okinawa Agricultural Research Center, <sup>2</sup> Greteck Co., <sup>3</sup> National Institute for Rural Engineering, NARO)
SP-29	航空機LIDARを利用した、北海道北部冷温帯林における森林蓄積量とバイオマス量の推定	高木健太郎 <sup>1</sup> ・米 康充 <sup>2</sup> ・野村 睦 <sup>1</sup> ・笹 賀一郎 <sup>1</sup> ・藤沼康実 <sup>3</sup> ・村山岳史 <sup>4</sup> ・小熊宏之 <sup>5</sup> ( <sup>1</sup> 北大FSC, <sup>2</sup> 島根大, <sup>3</sup> 鳥取環境大, <sup>4</sup> 北電総研, <sup>5</sup> 国環研)

○優秀ポスター賞 選考対象

SP-30○ 斜面崩壊ハザードマップ構築のための基礎的研究 －斜面崩壊地予測のための分光画像撮影方法について－	福田真也 <sup>1</sup> ・山口晃裕 <sup>2</sup> ・石川大太郎 <sup>3</sup> ・有満重徳 <sup>4</sup> ・韋江俊 <sup>4</sup> ・下高敏彰 <sup>1</sup> ・大場和彦 <sup>1</sup> ・石黒悦爾 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 長崎総合科学大, <sup>2</sup> 鹿児島大, <sup>3</sup> 関西学院大, <sup>4</sup> 大福コンサルタント(株) )
SP-31 2013年土壤水分の広域推定	井上 聡 <sup>1</sup> ・廣田知良 <sup>1</sup> ・濱寄孝弘 <sup>1</sup> ・根本 学 <sup>1</sup> ・牧野 司 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 農研機構北農研, <sup>2</sup> 道総研根釧農試 )
SP-32 福井県における黄砂現象に伴う浮遊粒子状物質 (SPM)の分布特性	三浦 麻 <sup>1</sup> ・酒井忠彰 <sup>2</sup> ・福島綾子 <sup>2</sup> ・谷口佳文 <sup>2</sup> ・吉川昌範 <sup>2</sup> ・坪内 彰 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 福井大, <sup>2</sup> 福井県衛生環境研, <sup>3</sup> 福井大学地環研教育 )
SP-33 夏秋期結球性レタスの生育特性	柳井洋介・福田真知子・岡田邦彦 (農研機構 野菜茶研)
SP-34○ 植物工場における市販LED照明の利用とレタスの生育特性	吉越 恒 (近中四農研) ・山本晴彦 (山口大)
SP-35 CO <sub>2</sub> を施用した土耕温室におけるCO <sub>2</sub> 収支解析	安武大輔 <sup>1</sup> ・岡田栄一 <sup>1</sup> ・猪野亜矢 <sup>2</sup> ・高橋昭彦 <sup>2</sup> ・玖波井邦昭 <sup>2</sup> ・細川卓也 <sup>3</sup> ・高橋尚之 <sup>4</sup> ・森 牧人 <sup>1</sup> ・宮内樹代史 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 高知大, <sup>2</sup> 高知県農業技術センター, <sup>3</sup> 高知県農業振興部, <sup>4</sup> 須崎農業振興センター )
SP-36○ 異なるCO <sub>2</sub> 濃度区画を創出する温室栽培システムの構築とその特性	船岡高史 <sup>1</sup> ・安武大輔 <sup>1</sup> ・小堀智絵 <sup>1</sup> ・森 牧人 <sup>1</sup> ・北野雅治 <sup>2</sup> ・宮内樹代史 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 高知大, <sup>2</sup> 九州大 )
SP-37 根域制限栽培されたカキの蒸散特性	杉浦裕義・東 暁史・山崎安津・葉師寺 博 (農研機構果樹研)
SP-38 吸湿性素材を用いた葉の蒸散量の検討-従来の測定機器との比較-	星 典宏・植山秀紀・根角博久 (近中四農研)
SP-39 養液土耕栽培支援システムZero.agriの開発	小沢 聖 <sup>1</sup> ・佐々木伸一 <sup>2</sup> ・喜多英司 <sup>2</sup> ・時津博直 <sup>2</sup> ・竹田津 洋 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 明治大, <sup>2</sup> ルートレック・ネットワークス )
SP-40○ 紫色光照射時の遠赤色光付加照射がPSII量子収率と一重項酸素の発生に与える影響	廣中健人・荊木康臣 (山口大農)
SP-41 氷冷熱型農産物貯蔵庫で利用された氷冷熱量の推定法の検証	木村賢人 <sup>1</sup> ・土谷賢一 <sup>2</sup> ・土谷祐二 <sup>2</sup> ・斉藤朋子 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 帯畜大, <sup>2</sup> 土谷特殊農機具製作所 )
SP-42 太陽光(O <sub>2</sub> A,O <sub>2</sub> B)と人工光下での定常クロロフィル蛍光計測の比較	図布新巴雅尔 (トブシンバヤル) ・銀杏悠作・大政謙次(東大院農学生命科学)

○優秀 ポスター賞 選考対象



**International Symposium on Agricultural Meteorology 2014 -Organized Session-**

**IA [Micro-meteorological environments and physiological functions of plant] 12:30 – 14:45 17 March, Room B**  
**Organizers: Kiyoshi OZAWA (Meiji Univ.), Tsuneo KUWAGATA (National Institute for Agro-Environmental Sciences)**  
**and Tsutomu WATANABE (Hokkaido Univ.)**

IA-1	Environmental factors alter the canopy temperatures of rice paddy	Mayumi YOSHIMOTO, Minehiko FUKUOKA, Yasuhiro USUI and Toshihiro HASEGAWA (National Institute for Agro-Environmental Sciences)
IA-2	Why do we need to link between crop morphology, physiology and micrometeorology in the context of climate change impacts?	Toshihiro HASEGAWA (National Institute for Agro-Environmental Sciences)
IA-3	Seasonal variations in canopy-scale water-use efficiency of irrigated rice	Keisuke ONO <sup>1</sup> , Masayoshi MANO <sup>2</sup> , Takahiro TAKIMOTO <sup>1</sup> , Md Abdul BATEN <sup>3</sup> , Jianguo ZHU <sup>4</sup> and Akira MIYATA <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> National Institute for Agro-Environmental Sciences, <sup>2</sup> Chiba Univ., <sup>3</sup> Bangladesh Agricultural Univ., <sup>4</sup> Institute of Soil Science, Chinese Academy of Sciences)
IA-4	Modeling studies of the micrometeorological processes that intimately interact with plant's physiology and morphology	Tsutomu WATANABE (ILTS, Hokkaido Univ.) and Tsuneo KUWAGATA (National Institute for Agro-Environmental Sciences)
IA-5	Response of aquaporin expressions in the rice roots to micro-meteorological environments	Tsuneo KUWAGATA <sup>1</sup> , Mari MURAI-HATANO <sup>2</sup> , Junko ISHIKAWA-SAKURAI <sup>2</sup> and Hidehiro HAYASHI <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> National Institute for Agro-environmental Sciences, <sup>2</sup> NARO Tohoku Agricultural Research Center)

**IB [Development and practice of advanced basin model in Asia] 13:00 – 16:00 18 March, Room B**  
**Organizer: Kazuo OKI (The Univ. of Tokyo)**

	Introduction	Kazuo OKI (The Univ. of Tokyo)
IB-1	Impact analysis of future climate change on water resources and nitrogen load	Koshi YOSHIDA, Ryunosuke HARIYA, Kenji TANAKA (Ibaraki Univ.) and Issaku AZECHI (National Agriculture and Food Research Organization)
IB-2	Mapping irrigated areas in the Dry Zone of Myanmar by differentiating evapotranspiration from irrigated and rain-fed areas	Somphasith DOUANGSAVANH, Matthew McCARTNEY and Guillaume LACOMBE (International Water Management Institute(IWMI))
IB-3	Development of a rice simulation model for remote-sensing (SIMRIW-RS)	Koki HOMMA, Masayasu MAKI and Yoshihiro HIROOKA (Kyoto Univ.)
IB-4	Estimation of rice yield by assimilating remote sensing data into crop growth model (SIMRIW-RS)	Masayasu MAKI, Koki HOMMA, Yoshihiro HIROOKA (Kyoto Univ.) and Kazuo OKI (The Univ. of Tokyo)
IB-5	Integrated cropping calendar information system in coping with climate change in Indonesia	Haris SYAHBUDDIN, Eleonora RUNTUNUWU, Fadhlullah RAMADHANI, Irsal LAS, Muhrizal SARWANI and Haryono (Indonesia Agency for Agricultural Research and Development)
IB-6	Modeling the spatial pattern of land-use change in Citarum River Basin	Hiroaki SHIRAKAWA <sup>1</sup> , Keigo NODA <sup>2</sup> , Kazuo OKI <sup>2</sup> , Patricia San MIGUEL <sup>1</sup> and Osamu HIGASHI <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> Nagoya Univ., <sup>2</sup> The Univ. of Tokyo, <sup>3</sup> Hiroshima Univ.)
IB-7	Household livelihoods and utilization of environmental resources in rural areas of South-east Asia during the high-growth economy	Nao ENDO <sup>1</sup> , Hiroaki SHIRAKAWA <sup>2</sup> , Keigo NODA <sup>3</sup> , Masayasu MAKI <sup>4</sup> and Kazuo OKI <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Kochi Univ., <sup>2</sup> Nagoya Univ., <sup>3</sup> The Univ. of Tokyo, <sup>4</sup> Kyoto Univ.)
IB-8	Evaluation of ecosystem services regarding soil conservation in Citarum River Basin	Keigo NODA <sup>1</sup> , Hiroaki SHIRAKAWA <sup>2</sup> , Koshi YOSHIDA <sup>3</sup> and Kazuo OKI <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> The Univ. of Tokyo, <sup>2</sup> Nagoya Univ., <sup>3</sup> Ibaraki Univ.)
IB-9	Economic instruments and institutional analysis of ecosystem service provisions in Citarum Basin, West Java, Indonesia	Beria LEIMONA <sup>1</sup> , Keigo NODA <sup>2</sup> , Hiroaki SHIRAKAWA <sup>3</sup> and Patricia San MIGUEL <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> World Agroforestry Center, Indonesia, <sup>2</sup> The Univ. of Tokyo, <sup>3</sup> Nagoya Univ.)
IB-10	Energy and water resource management based on effective biomass utilization in Xi'an City	Osamu HIGASHI (Hiroshima Univ.), Hiroaki SHIRAKAWA (Nagoya Univ.) and Kazuo OKI (The Univ. of Tokyo)

**IC [Sustainable forest and crop production affected by air pollution: an Asian perspectives] 9:00 – 11:30 19 March, Room B**  
**Organizers: Makoto WATANABE (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology) and Takayoshi KOIKE (Hokkaido Univ.)**

	Introduction	
IC-1	Crop production under rising surface ozone concentration in Asia	Kazuhiko KOBAYASHI <sup>1</sup> , Haoye TANG <sup>2</sup> and Jianguo ZHU <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> The Univ. of Tokyo, <sup>2</sup> Institute of Soil Science, Chinese Academy of Sciences)
IC-2	Effects of air pollutants on photosynthetic activity of Asian forest tree species	Masahiro YAMAGUCHI and Takeshi IZUTA (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology)
IC-3	Free air ozone fumigation study on deciduous broad-leaves tree species in northern Japan	Makoto WATANABE <sup>1</sup> , Yasutomo HOSHIKA <sup>2,3</sup> , Xiaona WANG <sup>2</sup> , Qiaozhi MAO <sup>2</sup> , Naoki INADA <sup>2</sup> , Tetsuichi SAKIKAWA <sup>2</sup> and Takayoshi KOIKE <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> Tokyo Univ. of Agriculture and Technology, <sup>2</sup> Hokkaido Univ., <sup>3</sup> Institute of Plant Protection, National Research Council of Italy)
IC-4	Combination effects of ozone and/or CO <sub>2</sub> on rhizosphere	Xiaona WANG <sup>1</sup> , Laiye QU <sup>2</sup> , Makoto WATANABE <sup>1,3</sup> and Takayoshi KOIKE <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Hokkaido Univ., <sup>2</sup> Research Center for Eco-Environment Sciences, Chinese Academy Sciences, <sup>3</sup> Tokyo Univ. of Agriculture and Technology)
IC-5	Ozone flux studies on broad leaved forests in Japan	Masabumi KOMATSU <sup>1</sup> , Kenichi YOSHIMURA <sup>1</sup> , Saori FUJII <sup>2</sup> , Kenichi YAZAKI <sup>1</sup> , Hiroyuki TOBITA <sup>1</sup> , Yasuko MIZOGUCHI <sup>1</sup> , Takafumi MIYAMA <sup>1</sup> , Yuji KOMINAMI <sup>1</sup> , Yukio YASUDA <sup>1</sup> , Katsumi YAMANOI <sup>1</sup> and Mitsutoshi KITAO <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Forestry and Forest Products Research Institute, <sup>2</sup> Yokohama National University)
	General discussion	

**International Symposium on Agricultural Meteorology 2014 -Oral Session-**

<b>Tue 18 March 9:00 – 11:30 Room B</b>			
9:00 - 9:15	I-1	Crop classification of upland fields using Random Forest	Kenichi TATSUMI (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology)
9:15 - 9:30	I-2	Effect of planting density on water and fertilizer use efficiency of pumpkin plants in Inner Mongolia	Tana, Cui YANWEI (Institute of Grassland Research, Chinese Academy of Agricultural Sciences) and ○Kiyoshi OZAWA (Meiji Univ.)
9:30 - 9:45	I-3	Chemical composition of <i>Quercus serrata</i> and <i>Q. mongolica</i> var. <i>crispula</i> seedlings grown under elevated O <sub>3</sub> and CO <sub>2</sub> with a free-air fumigation system	Cong SHI <sup>1</sup> , Mitsutoshi KITAO <sup>2</sup> , Makoto WATANABE <sup>3</sup> , Hiroyuki TOBITA <sup>2</sup> , Ken'ichi YAZAKI <sup>2</sup> , Satoshi KITAOKA <sup>2</sup> and Takayoshi KOIKE <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Hokkaido Univ., <sup>2</sup> Forestry & Forest Products Research Institute, <sup>3</sup> Tokyo Univ. of Agriculture and Technology)
9:45 - 10:00	I-4	Effects of O <sub>3</sub> on the growth of Japanese larch ( <i>Larix kaempferi</i> ) and Hybrid larch F <sub>1</sub> ( <i>Larix gmelinii</i> var. <i>japonica</i> × <i>L. kaempferi</i> ) grown under different nitrogen concentration	Dong-Gyu KAM <sup>1</sup> , Makoto WATANABE <sup>2</sup> , Cong SHI <sup>1</sup> , Mao Qiaozhi <sup>1</sup> , Xiaona WANG <sup>1</sup> , Kazuhito KITA <sup>3</sup> and Takayoshi KOIKE <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Hokkaido Univ., <sup>2</sup> Tokyo Univ. of Agriculture and Technology, <sup>3</sup> Forestry Research Institute, Hokkaido Research Organization)
10:00 - 10:15	I-5	Study on sustainable development of coastal communities by thinning practices of the rehabilitated mangrove trees	Yosuke OKIMOTO <sup>1</sup> , Akihiro NOSE <sup>2</sup> , Daniel MURDIYARSO <sup>3</sup> , Asihing KUSTANTI <sup>4</sup> , Rujito Agus SUWIGNYO <sup>5</sup> , Sigit Deni SASMITO <sup>3</sup> and Yutaka TATEDA <sup>6</sup> ( <sup>1</sup> Hokkaido Univ., <sup>2</sup> Saga Univ., <sup>3</sup> Center for International Forestry Research Institute, <sup>4</sup> Lampung Univ., <sup>5</sup> Sriwijaya Univ., <sup>6</sup> Central Research Institute of Electric Power Industry)
10:30 - 10:45	I-6	Environmental dependence and seasonal variation of diffuse radiation in tropical peatland	Fiolenta MARPAUNG and Takashi HIRANO (Hokkaido Univ.)
10:45 - 11:00	I-7	Carbon and energy flux densities above and within a black spruce forest in interior Alaska	Hiroki IKAWA <sup>1</sup> , Taro NAKAI <sup>2</sup> , Robert C. BUSEY <sup>1</sup> , Yongwon KIM <sup>1</sup> , Hideki KOBAYASHI <sup>3</sup> , Rikie SUZUKI <sup>3</sup> and Larry HINZMAN <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> IARC, Univ. of Alaska, <sup>2</sup> Nagoya Univ., <sup>3</sup> RIGC, JAMSTEC)
11:00 - 11:15	I-8	Simultaneous assimilation of satellite and eddy covariance data for improving terrestrial water and carbon simulations at a semi-arid woodland site in Botswana	KATO, T. (Hokkaido Univ., LSCE), KNORR, W., SCHOLZE, M. (Lund Univ.), VEENENDAAL, E. (Wageningen Univ.), KAMINSKI, T. (FastOpt), KATTGE, J. (MPI-Jena) and GOBRON, N. (JRC)
11:15 - 11:30	I-9	Trends in budding and leaf coloring dates of the <i>Ginkgo biloba</i> L. between 1977 and 2007 in Japan	Yo SHIMIZU, Shuhei UMEMURA and Kenji OMASA (The Univ. of Tokyo)
<b>Thu 20 March 13:00 – 15:45 Room B</b>			
13:00 - 13:15	I-10	Heat balance analysis of a tea leaf for evaluating frost protection	Kyosuke MARUO, Yuta MIYOSHI, Masaharu KITANO (Kyushu Univ.), Kentaro NAKAZONO, Tetsuya YOSHIOKA (Fukuoka Pref.), Akihiko MUROYA (KAWASAKI KIKO CO.) and Kiyoshi MATSUO (NARO)
13:15 - 13:30	I-11	Mechanism-based approach to root ion absorption affected by environmental factors	Ryosuke NOMIYAMA, Shota DOWAKI, Asuka YAMADA (Kyushu Univ.), Yuki SAGO (Yamaguchi Univ.), Daisuke YASUTAKE (Kochi Univ.) and Masaharu KITANO (Kyushu Univ.)
13:30 - 13:45	I-12	Sustainable control of the local environment of greenhouse crops by applying constant soil temperature layer I. Improvement of root zone temperature in soilless culture	Masaharu KITANO (Kyushu Univ.), Shinobu TAKAMURA (Naigai Engineering) and Yuta MIYOSHI (Kyushu Univ.)
13:45 - 14:00	I-13	Sustainable control of the local environment of greenhouse crops by applying constant soil temperature layer II. Improvement of shoot environments	Yuta MIYOSHI (Kyushu Univ.), Kota HIDAKA (NARO Kyushu Okinawa Agricultural Research Center) and Masaharu KITANO (Kyushu Univ.)
14:00 - 14:15	I-14	Artificial rainfall experiment by seeding liquid carbon dioxide at Miyake and Mikura Islands in the Izu Islands of Tokyo on Mach 14 in 2013	Taichi MAKI (Japan International Research Center for Agricultural Sciences and Professor Emeritus, Kyushu Univ.), Osamu MORITA (Office for a Sustainable Future, Fukuoka Univ.), Yoshinori SUZUKI (Professor Emeritus, Kyushu Univ.), Kenji WAKIMIZU (Faculty of Agriculture, Kyushu Univ.) and Koji NISHIYAMA (Faculty of Engineering, Kyushu Univ.)
14:15 - 14:30	I-15	Effect of coverage by a plant canopy on the interception of rainfall in coffee and clove plantations in Bali, Indonesia	Sanz Grifrio LIMIN (UGAS Ehime Univ.), ○Hiroki OUE and Yoshinobu SATO (Ehime Univ.)
14:45 - 15:00	I-16	Evaluation on dynamics of leaf area index (LAI) of rice in farmer's fields in Vientiane Province, Lao PDR	Yoshihiro HIROOKA, Koki HOMMA, Masayasu MAKI and Kosuke SEKIGUCHI (Kyoto Univ.)
15:00 - 15:15	I-17	Modeling evapotranspiration in rice and green bean fields in South Slawesi during the dry season	Hiroki OUE (Ehime Univ.), Sartika LABAN (UGAS Ehime Univ.) and Agnes RAMPISELA (Hasanuddin Univ.)
15:15 - 15:30	I-18	Monitoring of bamboo forest damage using multi-temporal satellite images and meteorological data	Guosheng ZHONG, Xiufeng WANG, Hiroshi TANI and Kunpeng YI (Hokkaido Univ)
15:30 - 15:45	I-19	Remote sensing indices based on biological information	Hideo MINAGAWA, Taiga MIKOSHIBA, Satoshi HAMADA and Katsuyuki TANAKA (Kitasato Univ.)

 Chair :  
 Daisuke  
 YASUTAKE  
 (Kochi Univ.)

 Chair :  
 Keisuke  
 ONO  
 (NIAES)

 Chair :  
 Etsushi  
 KUMAGAI  
 (NARO/TARC)

 Chair :  
 Masahiro  
 TASUMI  
 (Miyazaki  
 Univ.)

 Chair :  
 Yasushi  
 ISHIGOOKA  
 (NIAES)

## International Symposium on Agricultural Meteorology 2014

Poster Session

Tue. 16:15- 18:00, 18 March

Core time for presentation: (16:15-17:05 for odd-numbered) and (17:10-18:00 for even-numbered)

IP- 1○	Characteristics of torrential rain damage in Yamaguchi and Shimane Prefectures in July 2013	Hokuto KOBAYASHI <sup>1</sup> , Haruhiko YAMAMOTO <sup>2</sup> and Minori YAMAMOTO <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> Graduate School of Agriculture, Yamaguchi Univ., <sup>2</sup> Department of Biological and Environmental Sciences, Faculty of Agriculture, Yamaguchi Univ.)
IP- 2	Link of rainfall time series in the Nile midstream with sea surface temperature	Hiroshi YASUDA <sup>1</sup> , Mohamed A. M. Abd ELBASIT <sup>2</sup> , Sudhindra N. PANDA <sup>1</sup> , Hiroshi NAWATA <sup>3</sup> , Tariq E. GAMRI <sup>4</sup> and Takayuki KAWAI <sup>5</sup> ( <sup>1</sup> Tottori Univ., <sup>2</sup> Univ. of Johannesburg, <sup>3</sup> Akita Univ., <sup>4</sup> Desertification Research Center, <sup>5</sup> Niigata Univ.)
IP- 3	Estimation of spatial distribution of temperature in summer city area based on multiple regression analysis by using land-use element	Naru TAKAYAMA (Osaka Institute of Technology), Hisashi YOSHIKOSHI(NARO Western Region Agricultural Research Center), Haruhiko YAMAMOTO and Yoko HARADA (Yamaguchi Univ.)
IP- 4	A simple method for evapotranspiration estimation using satellite-based surface temperature	Masahiro TASUMI (The Univ. of Miyazaki), Reiji KIMURA (Tottori Univ.) and Masao MORIYAMA (Nagasaki Univ.)
IP- 5	Application of satellite-based aridity index in dust source regions of northeast Asia: Effect of land surface aridity on Asian dust events over Japan from 2000 to 2011	Reiji KIMURA (Tottori Univ.) and Masao MORIYAMA (Nagasaki Univ.)
IP- 6○	Estimation of the downward long-wave radiation using the GPS precipitable water vapor under clear sky condition	Tomohiro NOJIMA and Makito MORI (Kochi Univ.)
IP- 7○	Features of saltation and dust event in Tsogt-Ovoo, Mongolia	ABULAITI, A. <sup>1</sup> , KIMURA, R. <sup>1</sup> , SHINODA, M. <sup>1</sup> , MIKAMI, M. <sup>2</sup> , ISHIZUKA, M. <sup>3</sup> , YAMADA, Y. <sup>4</sup> , KUROSAKI, Y. <sup>1</sup> and NISHIHARA, E. <sup>5</sup> ( <sup>1</sup> Arid Land Research Center, Totto Univ., <sup>2</sup> Meteorological Research Institute, <sup>3</sup> Kagawa Univ., <sup>4</sup> RIKEN, <sup>5</sup> Tottori Univ.)
IP- 8○	The effects of elevated [CO <sub>2</sub> ] on canopy temperature of rice cultivars differing in heat tolerance and their relevance with grain appearance quality	Yasuhiro USUI <sup>1</sup> , Hidemitsu SAKAI <sup>1</sup> , Mayumi YOSHIMOTO <sup>1</sup> , Takeshi TOKIDA <sup>1</sup> , Hirofumi NAKAMURA <sup>2</sup> , Hiroshi NAKAGAWA <sup>3</sup> and Toshihiro HASEGAWA <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> NIAES, <sup>2</sup> Taiyokeiki Co.Ltd., <sup>3</sup> NARO)
IP- 9	Changes in microclimate inside the canopy induced by water warming in rice paddy	Mayumi YOSHIMOTO, Minehiko FUKUOKA and Toshihiro HASEGAWA (NIAES)
IP- 10	Estimation of water and nitrogen balance in Northern Negros Island, Philippines	Shinkichi GOTO <sup>1</sup> , Sunao ITAHASHI <sup>2</sup> , Kiyoshi OZAWA <sup>3</sup> , Arnaldo ALVAREZ <sup>4</sup> , Oscar CARPIO <sup>4</sup> , Shotaro ANDO <sup>1</sup> , Patrick ESPANTO <sup>4</sup> , Erwin RENOS <sup>4</sup> , Teresita SANDOVAL <sup>4</sup> and Samuel CONTRERAS <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> Japan International Research Center for Agricultural Sciences, <sup>2</sup> National Institute for Agro-Environmental Sciences, <sup>3</sup> Meiji Univ., <sup>4</sup> Bureau of Soils and Water Management, Department of Agriculture)
IP- 11○	Relationship between water table and runoff in Kushiro Mire	Ryo OKAZAKI, Ryoji SAMESHIMA and Keiji OKADA (Hokkaido Univ.)
IP- 12	Estimating evaporation from moving water surface in an irrigation canal	Makito MORI <sup>1</sup> , Suhua LIU <sup>2</sup> , Weizhen WANG <sup>2</sup> , Kenta TAGAWA <sup>3</sup> , Ryosuke NOMIYAMA <sup>4</sup> , Daisuke HISAEDA <sup>4</sup> and Tetsuo KOBAYASHI <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> Kochi Univ., <sup>2</sup> Cold and Arid Regions Environmental and Engineering Research Institute, China, <sup>3</sup> Saga Univ., <sup>4</sup> Kyushu Univ.)
IP- 13	Laboratory-scale experiments for the active-phase composting process under the same material and operating conditions	Takenobu SHISHIDO, ○Hirakazu SEKI, Tetsuoki HASHIMOTO and Keiichi HIRANO (Kanazawa Univ.)
IP- 14○	Characteristics of soil respiration rate at Bibai wetland site in northern Japan	Shinjiro OHKUBO, Osamu NAGATA and Yasuhiro KOMINAMI (NARO Hokkaido Agricultural Reserch Center)
IP- 15	The effect of soil temperature on the natural anaerobic decomposition of foliar litter	Ryosuke ENDO (Osaka Pref. Univ.)
IP- 16○	Leaf phenology and insect grazing of white birch ( <i>Betula platyphylla</i> var. <i>japonica</i> ) grown under a free-air ozone exposure	Tetsuichi SAKIKAWA <sup>1</sup> , Monta OIKAWA <sup>1</sup> , Qiaozhi MAO <sup>1</sup> , Makoto WATANABE <sup>2</sup> , Yasutomo HOSHIKA <sup>3</sup> and Takayoshi KOIKE <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Hokkaido Univ., <sup>2</sup> Tokyo Univ of Agriculture and Technology, <sup>3</sup> Institute of Plant Protection, National Research Council of Italy)
IP- 17	Use of NIR-reflecting film in greenhouse cultivation system and its thermal effects on crop yield	Yasuyo NISHIMURA <sup>1</sup> , Kazuyuki MATSUOKA <sup>1</sup> , Hiroshi ARUGA <sup>2</sup> , Makito MORI <sup>1</sup> and Tomohiro NOJIMA <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Kochi Univ., <sup>2</sup> Asahi Glass Co., Ltd.)
IP- 18○	Effects of light conditions on calcium concentration and tipburn development in leaf lettuce	Yuki SAGO, Masayuki BABA, Kazuki NOMURA and Haruhiko YAMAMOTO (Yamaguchi Univ.)
IP- 19	Field based phenotyping analyses of rice traits using vegetation indices under different nitrogen levels	Hiroki NAITO <sup>1</sup> , Michael Gomez SELVARAJ <sup>2</sup> , Milton Orlando VALENCIA <sup>2</sup> , Fumiki HOSOI <sup>1</sup> , Yo SHIMIZU <sup>1</sup> , Manabu ISHITANI <sup>2</sup> , Kenji OMASA <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Univ. of Tokyo, <sup>2</sup> CIAT)

○ Candidates for excellent poster award